

GROWTH



ハイグロース企業への 進化

中期経営計画（2022-2028年）



BroadLeaf 株式会社ブロードリーフ

01 これまでのブロードリーフ

WHAT

なにを

自社開発の
企業向け業務システム

WHO

だれに

整備業など
自動車関連事業者中心

ACHIEVEMENT

実績

盤石の顧客基盤
を創業来確立

整備業向け部品商社向けで
＼ トップシェア ／

02 2022年からのブロードリーフ

WHAT

なにを

フルモデル
チェンジ

『Broadleaf Cloud Platform』

クラウドソフト

+プラットフォームサービス

WHO

だれに

マーケット
拡大

オートモビリティ産業

+システム開発事業者

+ファイナンス事業者など

FUTURE
これから

ハイグロース企業
へと進化

＼ より多くのお客さまが採用 ＼

＼ お客さまにより多くの価値を提供 ＼

03 2022年は進化元年

2022年から クラウドビジネスに転換

従来ビジネスの収益モデル

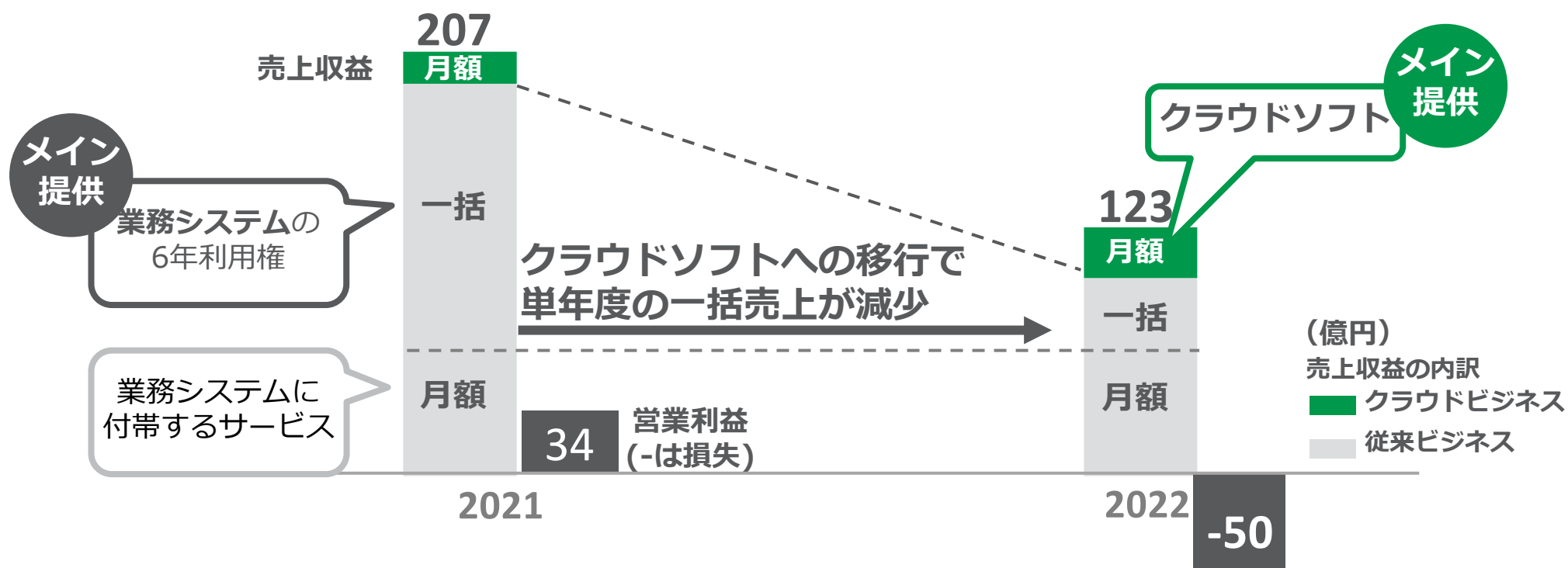
『ハイブリッド』

単年度の一括売上 (※)
+ 複数年度わたる月額売上

クラウドビジネスの収益モデル

『月額サブスク』

複数年度にわたる月額売上

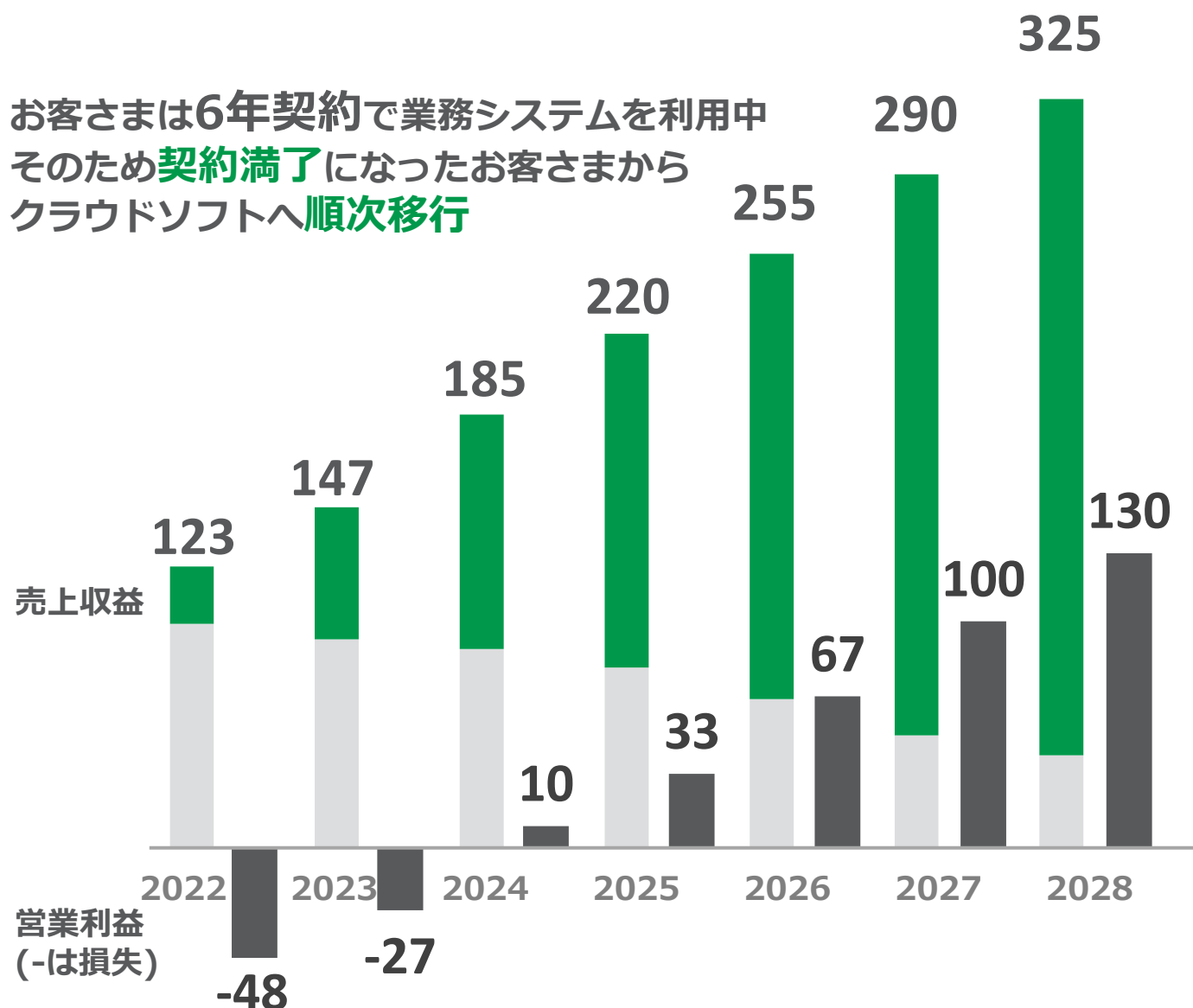


※売切りではなく、6年毎に利用権の買い替え需要あり

04 進化の過程(業績計画2022-2028)

2022年を起点に ハイグロース企業に進化

お客さまは6年契約で業務システムを利用中
そのため**契約満了**になったお客さまから
クラウドソフトへ**順次移行**



売上 ストック化

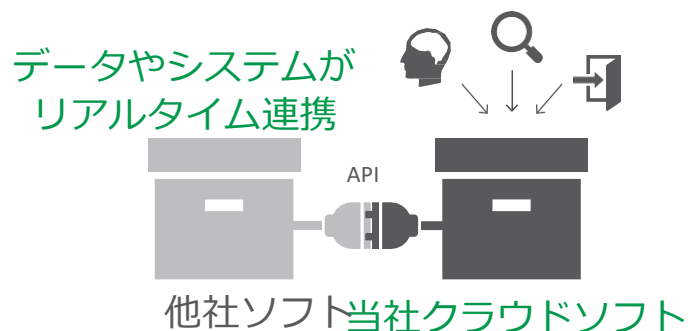
2022-2028年
年平均成長率 **18%**

利益率 大きく上昇

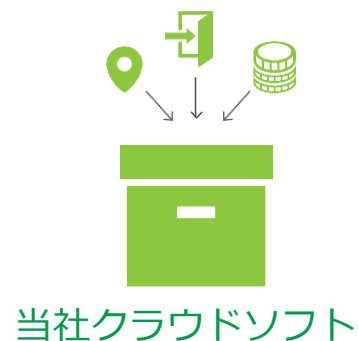
2028年
営業利益率 **40%**

05 進化を可能にする Broadleaf Cloud Platform

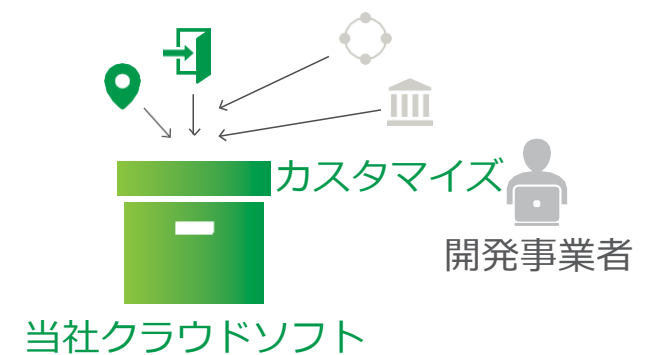
他社システムとの
API連携



マイクロモジュールを
組み合わせてサービス化



3rdパーティーによる
アドオン開発が可能



履歴データから
新たな価値創造



データベース



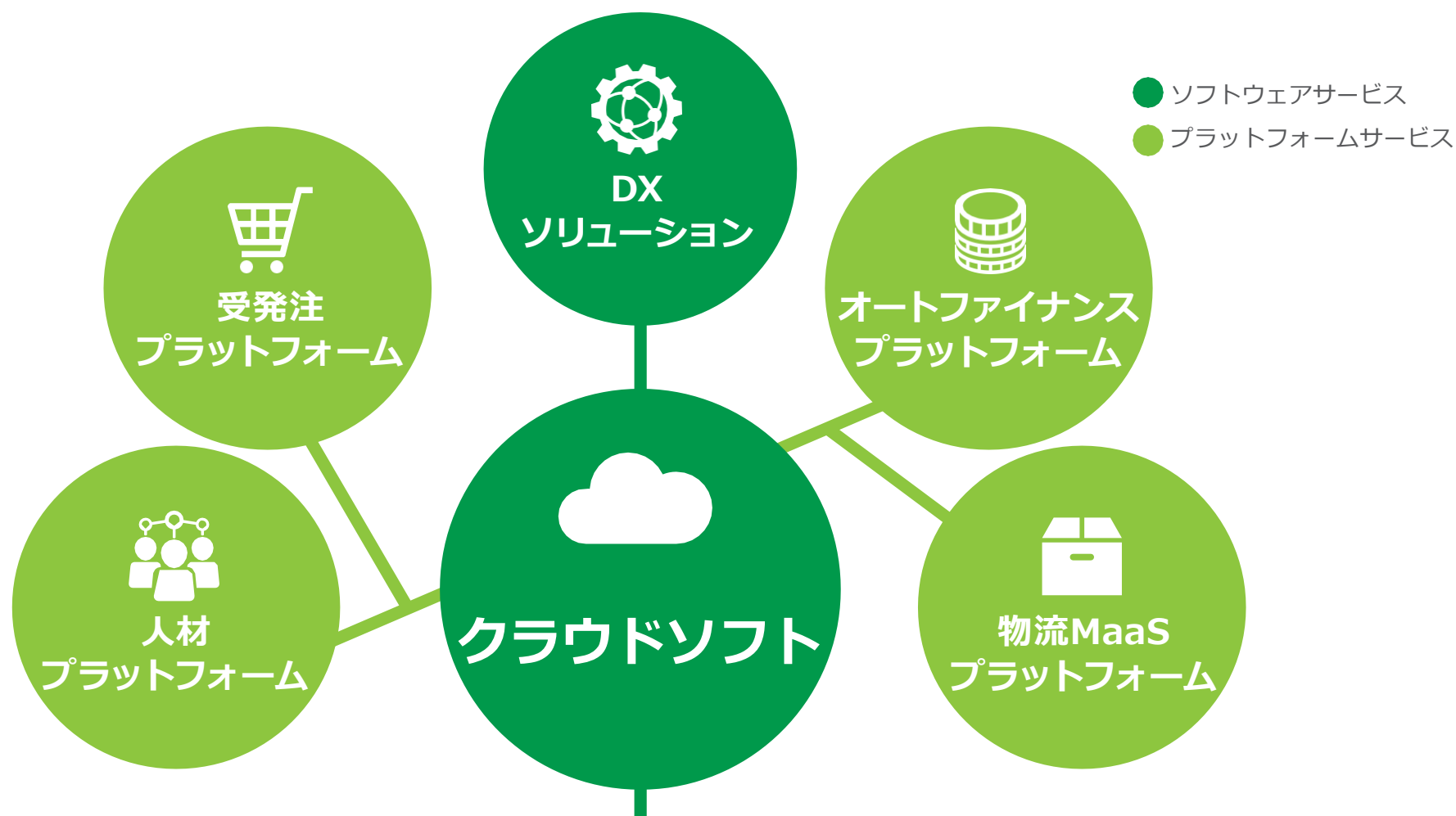
マイクロモジュール群

Broadleaf Cloud Platform

06 クラウドソフトの競争優位性



07 グロース加速に向けた事業領域の拡大



Broadleaf Cloud Platform

システム開発事業者

オートモビリティ事業者

ファイナンス事業者

免責事項

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ

コーポレートコミュニケーション室

E-mail : bl-ir@broadleaf.co.jp